

大阪府立千里高等学校 学校運営協議会 議事録

| | |
|-----|----------|
| 校名 | 府立千里高等学校 |
| 校長名 | 湯峯 郁子 |

| | |
|---------|--|
| 開催日時 | 令和 4年 11月 1日(火) 15:30～17:00 |
| 開催場所 | 府立千里高等学校 校長室 |
| 出席者(委員) | 和田良彦委員、宮下千穂委員、木村功委員、大森万峰子委員、山崎大義委員 |
| 出席者(学校) | 湯峯校長、山下教頭、河嶋事務長、大西首席、本間首席・進路指導主事 重西教務部長、塚本ICT委員長、村上総務部長(書記) |
| 傍聴者 | 0名 |
| 協議資料 | (資料1)令和4年度 学校経営計画及び学校評価 (資料2)科学技術人材育成プログラム (資料3)生徒用PCの授業での使用結果まとめ (資料4)スクール・ミッション案 作成要領 (資料5)令和3年度実施 学校教育自己診断アンケート 質問項目 (資料6)令和5年度使用教科書 採択一覧表 |
| 備考 | |

| | |
|---|--|
| 議題等(次第順) | |
| <p>1、学校長挨拶 2、出席者紹介 3、報告・協議</p> <p>(1)令和4年度学校経営計画進捗状況</p> <p>① 教育相談体制の充実に係る取組み(校長・教頭) 大職員室計画、保健部会における生徒情報交換、支援教育コーディネーターの明確化 成績内規の改定と要登校支援生徒への配慮についての取組み</p> <p>② 観点別評価・授業改善の取組み(教頭・教務部長) 成績内規の改定、でじ楽採点ソフトの試行</p> <p>③ SSH第Ⅲ期1年次の状況(校長・事務長) 科学探究基礎の授業内容の充実、FSG生徒対象のFSプロジェクトの充実、会計処理【資料2】</p> <p>④ 本校のICT教育の現状とこれから(校長・担当首席) ICTを活用した授業・教育活動、Chromebookの教員用の配備、LGIGAHS研究指定事業【資料3】</p> <p>⑤ 働き方改革の推進(教頭・ICT委員長) アラミングメール、週休日の勤務の厳格化、定時退庁の促進、今後のICT化促進</p> <p>⑥ スクール・ミッションの策定に関して(校長) 策定に向けての本校の動き【資料4】</p> <p>⑦ 学校教育自己診断について(教頭)【資料5】</p> <p>(2)令和5年度教科書選定について(教頭)【資料6】</p> <p>4、提言【和田会長】 5、事務連絡(教頭)</p> | |

| | |
|--|--|
| 協議内容・承認事項等(意見の概要) | |
| <p><大職員室計画> (質問)大職員室化によりどのようなメリットがあるか。 (回答)本校は2つの専門学科を併設する特色のある学校であるとともにさまざまな教育事業に参加している。大職員室化により教員同士の情報交換がすすみ、他の学科や学年、分掌等が相互に理解し合う効果が期待できる。</p> <p><観点別評価> (質問)観点ごとの点数は示すのか。評価方法についてはあらかじめ生徒に示しているのか。 (回答)考査では観点別に点数を示している。また評価は観点別に3段階(A,B,C)で示している。評価方法はあらかじめ示している。</p> <p><授業改善> (質問)授業改善に向けての具体的な取組みにはどのようなものが挙げられるか。 (回答)教育センターのパッケージ研修の支援・指導を受けて、12月19日(月)に全教科参加の形式で研究授業および研究協議を実施する。</p> <p><SSH> (質問)SSHにおいて大学との連携はどのようにおこなわれているか。 (回答)例えば、大阪大学からは大学院生等を多数派遣していただいております。また、北海道研修においては北海道大学、白浜研修では京都大学の支援を受けるなど、高大関係をすすめている。</p> <p><学校教育自己診断> (意見)経年変化も見たいため、原則として昨年度と同じ質問で実施するという事は理解できる。</p> <p><教科書選定> (意見)各科目でどのような教科書が選ばれているか経年で見てみたい。次回協議会で示してほしい。</p> <p><その他> (意見)副教材の難易度が合っていないのではないかという意見を複数聞いている。教科の考えはいかがか。</p> | |

| | |
|----------------|--------------|
| 次回の会議日程 | |
| 日時 | 令和5年2月28日(火) |
| 会場 | 校長室 |